

NPO山口バイオマス利用研究会の紹介

周南市夜市

いま田舎が大変です!!

この山は、60年前までは美しい棚田・畑が広がり、様々な作物が栽培されていました。

ところが、近年、産業構造の変化・少子高齢化・竹の侵入・獣害の多発化などにより、放置され、荒れ果てています。

ふるさとが抱える課題

- 農業・林業の衰退
- 竹の侵入と竹藪の広がり
- 放棄地、放棄林の拡大と獣害の深刻化
- 少子・高齢化の進行（若者・後継者不足）

解決策



- 農業・林業の振興
- 竹の喫緊の課題です！
- 放棄地、森林の活用（資源の宝庫）
- 農産物・林産物を生かせる産業の育成

私たちNPOの現在の取組

① 持続可能な農業の実践

農薬・化学肥料を使わない農業

② 竹林整備と竹林の生産物の活用

③ 再生可能なエネルギーからの電力生産

次のステップ

- 竹資源を活用する。
高品質タケノコ生産、タケノコの加工・販売、
竹粉活用、竹酢液活用、セルロース・リグニンの活用
- 林業の振興 → 自伐型林業の展開

私たちが展開する事業とSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



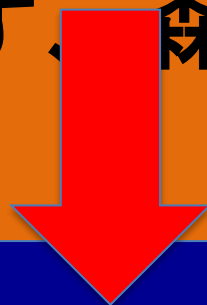
竹の活用による地域活性化



竹林の現状と解決方法

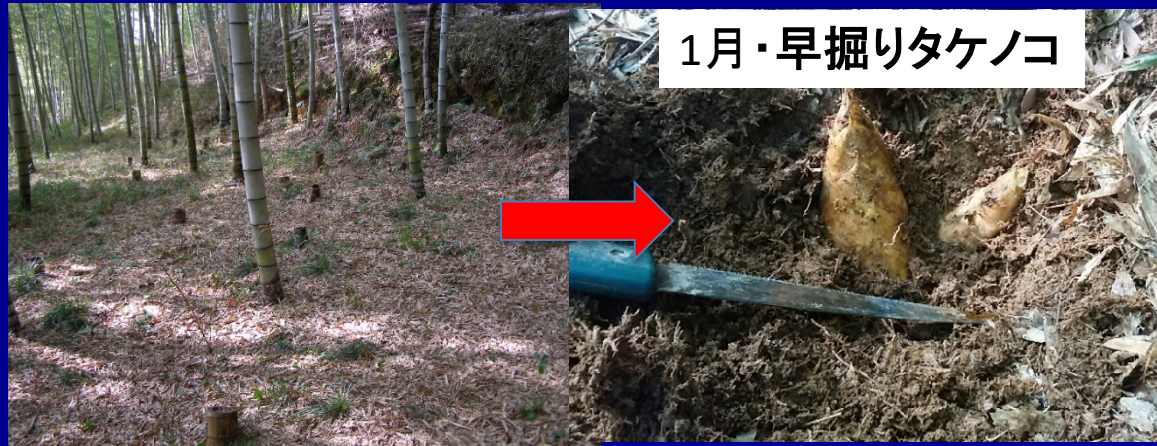
現状

- 竹林が増え、農地は減少し、森林・環境は破壊されつつある。
- 荒れた竹藪には、野生動物やマダニが生息し、危険である。
- 竹資源が活かされていない。
- 林業が儲からず、森が放置されている。



解決方法(その1)

竹林整備＋タケノコ生産



解決方法(その2)

レベルアップ

1 竹林整備(⇒ タケノコ生産、タケノコ加工・販売)

2 竹材の活用

- 肥料(竹粉)、キノコ栽培、カキ筏材料
竹炭・竹酢液、竹粉飼料、竹紙
- 竹の化学成分の活用((株)トクヤマ殿)
ヘミセルロース、リグニン、セルロース等の活用

3 発電燃料として(竹粉等)

- 石炭火力発電所で混焼用燃料

4 林業環境の整備、環境教育実施

- 路網の整備(竹林＋森林)

プロボノワーカーの方といっしょに 取り組みたいこと

竹林整備 + タケノコ生産 + 加工



域外プロボノワーカー受入目的

- ①竹林の適正な管理
- ②高品質タケノコの生産
- ③タケノコの加工と販売

などを行っている団体のノウハウを共有し、さらにレベルアップを図りたい。

求める人材等の条件について

- ①竹林の適正な管理を実施している団体
- ②タケノコの加工と販売にアドバイスしていただける方（水煮、メンマ、キムチ等）

プロボノ活動の進め方(スケジュール)

- 1 竹林整備(8月~1月、緊急作業は次の①・②)
 - ①8月中に、県道(180号)の一部の危険な竹林を整備し、安全な状態にする(3日程度かかる)。
 - ②9月中に、テレビ中継用集合アンテナの受信障害を起こしている竹を伐採する(2日程度)。
- 2 タケノコ加工と販売(8月~)
 - ①保存中の塩漬タケノコの加工方法を検討する。
 - ②保存タケノコをメンマ、キムチ等に製品化し、販売する。製品化の過程や販売方法を検討する(メールや Zoom の活用)
- 3 活動のまとめ(2月) (メールや Zoom の活用)

終わり

